

太陽光発電設備の一次エネルギー消費量削減効果について

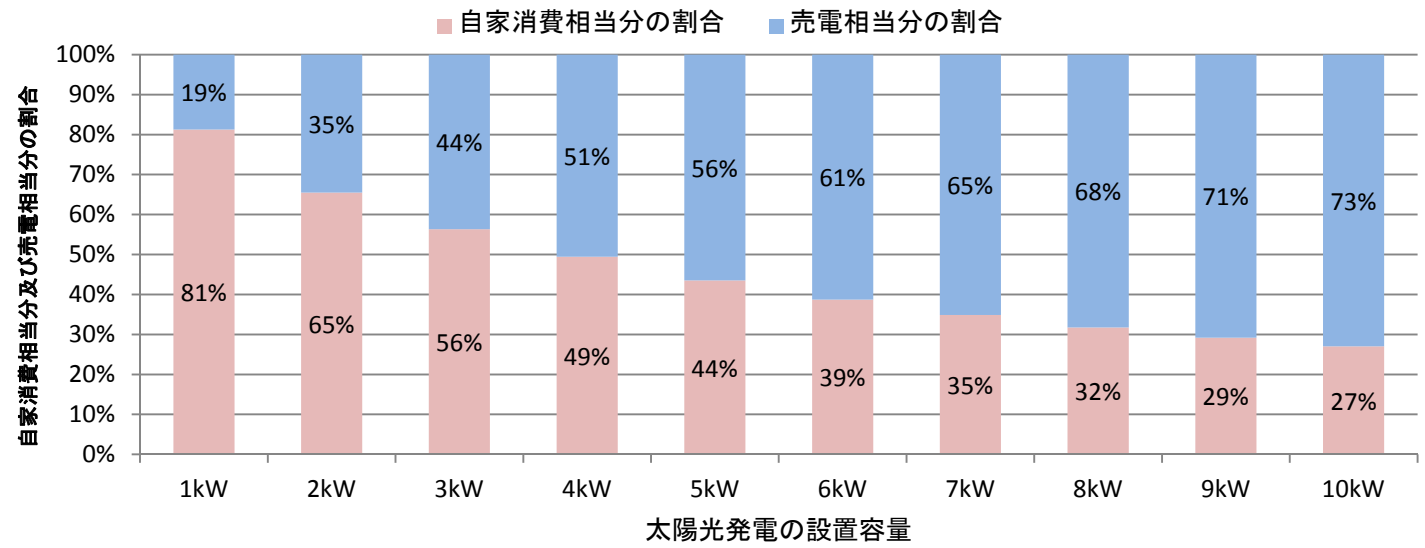
太陽光発電設備の一次エネルギー消費量削減効果について

● 太陽光発電設備による発電量のうち、自家消費相当分(一次エネルギー消費削減量)が占める割合は設置容量が大きくなるほど、小さくなる。

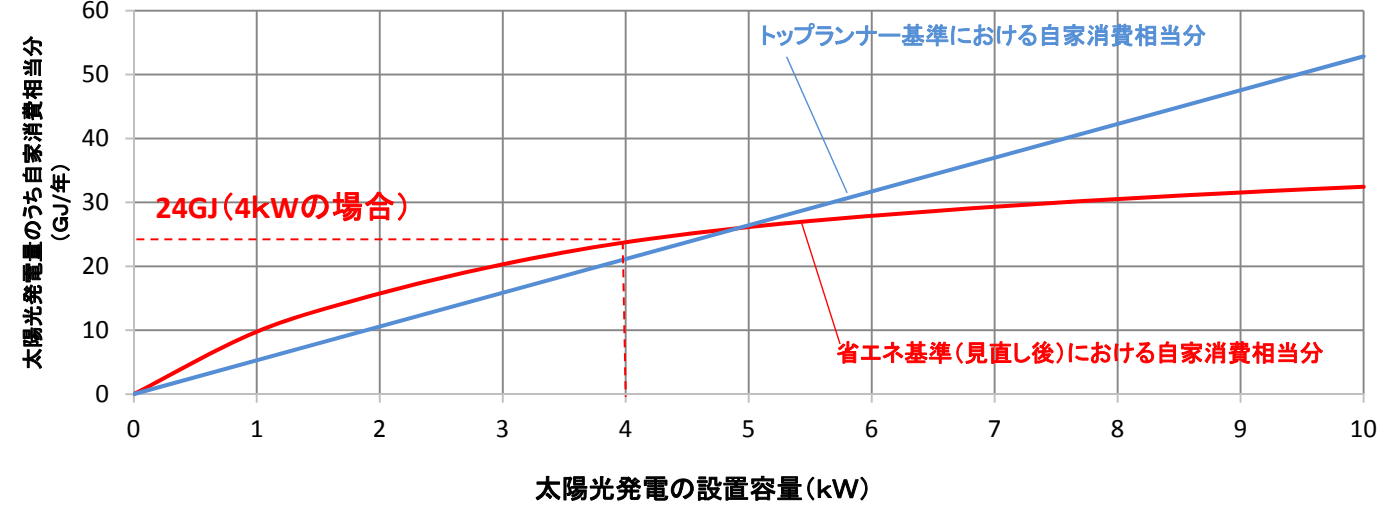
<試算条件>
 地域:6地域(旧IVb地域)
 設置方位:南
 傾斜角:30度
 建て方:戸建住宅
 延床面積120m²
 空調方式:全館連続運転
 (ヒートポンプ式セントラル空調システム)
 給湯、換気、照明:標準設備

<試算例>
 太陽光設置容量:4kW
 設計一次エネルギー消費量=
 一次エネルギー消費量:80GJ/年
 -自家消費量:24GJ/年
 =56GJ/年
 エネルギー消費率=
 56GJ ÷ 80GJ × 100 = **70%**

【太陽光発電設備による発電量に占める自家消費相当分、売電相当分の割合】



【太陽光発電設備による発電量のうち自家消費相当分】



【参考】

設計一次エネルギー消費量の算定におけるエネルギー効率化設備による発電量の評価

- 住宅・建築物におけるエネルギーの効率的利用に資する取組を評価する観点から、エネルギー効率化設備（太陽光発電等）による発電量のうち自家消費相当分のみを一次エネルギー消費量から差し引くこととする。

＜太陽光発電設備による発電量の評価の場合＞

